

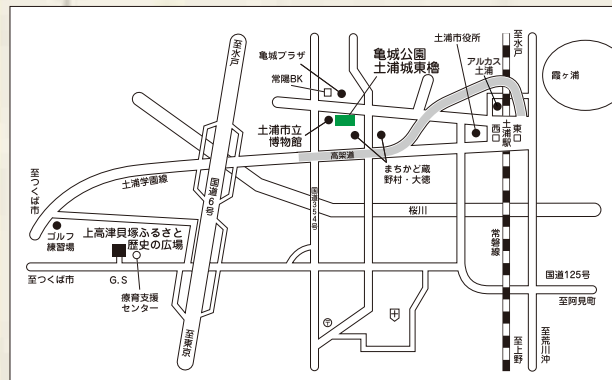
歴代の土浦藩主

藩主名	在職期間	官名	石高
平信一	慶長6年～慶長9年 (1601)～(1604)	伊豆守	3万5千石
平信吉	慶長9年～元和3年 (1604)～(1617)	伊豆守	4万石
西尾忠永	元和3年～元和6年 (1617)～(1620)	丹後守	2万石
西尾忠照	元和6年～慶安2年 (1620)～(1649)	丹後守	2万石
朽木植綱	慶安2年～万治3年 (1649)～(1660)	民部少輔	3万石
木植昌	寛文1年～寛文9年 (1661)～(1669)	伊予守	2万7千石
土屋敷	寛文9年～延宝7年 (1669)～(1679)	但馬守	4万5千石
土屋政直	延宝7年～天和2年 (1679)～(1682)	相模守	4万5千石
土松平信興	天和2年～貞享4年 (1682)～(1687)	因幡守	2万2千石
土屋政直	貞享4年～享保4年 (1687)～(1719)	相模守	9万5千石
土屋陳直	享保4年～享保19年 (1719)～(1734)	但馬守	9万5千石
土屋篤直	享保19年～安永5年 (1734)～(1776)	能登守	9万5千石
土屋寿直	安永5年～安永6年 (1776)～(1777)	相模守	9万5千石
土屋泰直	安永6年～寛政2年 (1777)～(1790)	能登守	9万5千石
土屋英直	寛政2年～享和3年 (1790)～(1803)	但馬守	9万5千石
土屋寛直	享和3年～文化8年 (1803)～(1811)		9万5千石
土屋彦直	文化8年～天保9年 (1811)～(1838)	相模守	9万5千石
土屋寅直	天保9年～慶応4年 (1838)～(1868)	采女正	9万5千石
土屋拳直	慶応4年～明治2年 (1868)～(1869)	相模守	9万5千石

スタンプ・メモ

土浦市立博物館付属展示館

土浦城東櫓 利用案内



- ◇交通案内
- *常磐線土浦駅西口より徒歩15分もしくは西口のバス乗り場④・⑤番より「亀城公園前」下車徒歩1分
 - *TX(つくばエクスプレス)つくば駅下車つくばセンターバス乗り場⑤番土浦駅西口行「千束町」下車徒歩8分
 - *常磐道土浦北ICまたは桜土浦ICより10分

◇開館時間 午前9時から午後4時30分まで

◇休館日 月曜日・祝日の翌日(ただし、翌日が土日の場合は開館)、年末年始(12/28～1/4)、特別展開催にともなう展示替え期間ほか。

◇入館料 一般 105円(75円)
 児童・生徒 50円(30円)
 ※()内は、20名以上の団体料金です。
 ※博物館・東櫓いずれも入館できます。

◇お願い *館内での喫煙・飲食はできません。
 *その他、職員の指示に従ってください。

◇問合せ先 *土浦市立博物館
 〒300-0043 茨城県土浦市中央一丁目15番18号
 TEL.029-824-2928 FAX.029-824-9423
 *土浦城東櫓 TEL.029-824-0028
 *土浦市教育委員会 TEL.029-893-5505
 文化生涯学習課

文化財を大切にしましょう

「常州土浦城図」独立行政法人国立公文書館蔵

土浦城

櫓西東 門櫓櫓

県指定史跡 土浦城跡および櫓門

続日本百名城選定

土浦城

土浦城は、室町時代後期ごろに若泉氏が築城したとも伝えられています。現在知られている土浦城は江戸時代に城郭として整備されたものです。

江戸時代初期には松平氏、西尾氏、朽木氏、中期以降には譜代大名土屋氏が代々城主となりました。土屋氏のときに土浦藩領は9万5千石となり、常陸国では水戸藩に次いで、大きな領地を支配していました。

明治時代の廃藩置県後、土浦城は新治県庁、新治郡役所として利用されました。昭和10年(1935)に亀城公園として本格的に整備され、昭和27年(1952)には櫓門とともに茨城県指定史跡第1号となりました。

「御城地図」土浦市立博物館蔵



江戸時代の土浦城 本丸・二の丸
 1.東櫓 2.西櫓 3.櫓門 4.霞門 5.二の丸門
 (現在日前川口門が移築されている)

再生紙使用
 大豆インキ使用
 2019.5